

中山間地域の農業・農村を守る 「片岡南部サポートセンター」を設置

湖北農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

長浜市余呉町片岡南部地域6集落は、高齢化による労働不足から耕作放棄地の増大が懸念されている中山間地域で、農業の継続により美しい風景や農村生活を守ることが大きな課題となっています。このため、当課、長浜市、JA北びわこなどで構成する中山間地域連携会議（月1回開催）で、継続的に課題解決の方法について検討し、その取組を集落へ働きかけました。

【普及活動の内容】

昨年度に、6集落の農業者らとともに「片岡南部の農業・農村を考える会議」を開催し、農地を守る仕組みづくりを提案し、今年度はこの仕組みづくりの実践を誘導しました。

- ① 農地調整機能を持つ「片岡南部サポートセンター」を設置するよう、集落やJAなどに働きかけました。事務局はJA北びわこに依頼しました。連携会議のメンバーと集落代表者1集落3名が参加することになりました。
- ② 農業組合長を集落連絡委員として、耕作者がいなくなる農地をサポートセンターにつなぐ仕組みを提案しました。業務が継承されるように連絡員マニュアルを作成しました。
- ③ 担い手との話合いやアンケートを行い、地域農業を支えている担い手の声を「サポートセンターだより（3回発行）」で各集落に配布し、集落の取組を啓発しました。
- ④ 担い手の農地調整のために農地点検活動を働きかけ、3集落で点検地図の作成を支援しました。



写真 サポートセンターの設立（6月）

【普及活動の成果】

普及活動の結果、平成28年6月に「片岡南部サポートセンター」が設置され、28年度には0.4haの作業受託、H29年は1.3haの経営受託が集落内外の担い手に行われ、耕作放棄地を未然に防ぐことができました。

また、水の確保が困難なエリアでは、外部の担い手のために水を使うルールを決められた集落も出てきました。農村まるごと保全向上対策の取組は6集落中5集落となり全域的に取り組まれるようになっていきます。

集落の話し合いや共同活動が活発となることで、若手人材が活躍されている場面も増えています。新たに外部に対して草刈ボランティア募集を実施される集落も出てきました。

中山間地域では人材が不足しがちであるため、関係機関が支援できる機能を設け、地域と担い手が連携して地域を守れるように誘導しています。

◎対象者の意見

担い手と地域が相互に協調して、耕作放棄地が出ないように集落を守っていきたい。

（I集落連絡員）